

# 未来づくりと環境

新型コロナウイルスに対して世界がこれほど無力なのかを痛感して早1年半が経過しました。残念ながら、未だに収まる気配はなく、新たな感染の波が繰り返し襲ってきています。既に犠牲になられた皆様にお悔やみを申し上げるとともに、最前線で戦っておられる医療従事者の方々には敬意と感謝の気持ちをお伝えいたします。

新型コロナウイルスは、社会・経済や教育現場などへ甚大な影響を与えるだけでなく、社会のデジタル化を加速する側面も持っています。残念ながら、このデジタル社会の実像は未だに良く見えてきません。予測不能な変革社会の到来に際し、工学の力でこれを健全な社会へと導く必要があります。

名古屋工業大学は、工学を常に客観的に見つめる「心で工学」を行動理念に据え、サイエンスから技術の糸を、社会・世界の人々から心の糸を紡ぎ、これらが織り成すイノベーション創出等を通じて、心の豊かさを実感できる社会の実現に貢献したいと考えています。

環境に配慮した事業所として、本学は名古屋市よりエコ事業所の認定を、2008年以降現在まで継続して受けています。これをベースラインとして、「心で工学」を育む理想の培地の構築を目指し、キャンパスのさらなる緑化や「アートフルキャンパス構想」の実現など、未来づくりのプラットフォームに一層の磨きをかけてまいります。

加えて、本学の構成員一人一人が環境に対する配慮を意識し、産業界や地域社会とともに継続的に環境問題に取り組んでいくことも極めて重要です。キャンパス環境の現状を正しく認識し、現状の問題点や課題を適切に把握・分析して改善に繋ぐため、ここに本年度の環境報告書を取りまとめ、現時点におけるキャンパスの状況を客観的に見つめてみました。

2021年9月

国立大学法人名古屋工業大学長

環境最高責任者

木下隆利

